

6.0.1.39873

リリースノート

- 新機能

- グループ権限によるユーザー管理の改善および再設計：
 - ユーザー管理 UI デザインが大幅に改訂・改善されました。
 - ユーザー権限システムが強化されました。
 - カメラごとに異なる権限をユーザーやグループに割り当てるできるようになりました。
 - ユーザーは複数の権限グループのメンバーになることができます。
 - グループは他のグループから権限を継承できます。
- LDAP 統合の強化：
 - VMS はユーザーとグループを LDAP と継続的に同期させます。
 - LDAP グループとそのユーザーメンバーシップを VMS にインポートでき、VMS でそれらのグループの権限を構成することもできます。
 - 新しく「LDAP 同期障害」イベントを用意し、デスクトップクライアントでサポートしました。
- 新しいユーザータイプ（一時ユーザー）の導入
 - 一時ユーザーはデスクトップクライアント / Web 管理画面のみ使用でき、クラウドポータルは使用できません。
 - 一時ユーザーはビューアー系（非管理者）権限に制限されており、セキュア API にアクセスできません。
- カメラホットスポットおよびカメラリンクにより、関心オブジェクトを追跡する機能が導入されました。
- Windows および Ubuntu 版デスクトップクライアントで、NVIDIA ハードウェアビデオデコードアクセラレーションが利用可能になりました。
- VMS からの電子メールをクラウド SMTP サーバー経由で送信できるようになり、SMTP 電子メールの設定が容易になりました。

- 破壊的変更
 - Microsoft Windows 8.1 および Microsoft Windows Server 2012 へのサポートが終了しました。
 - Raspberry Pi 3 へのサポートが終了しました。
 - 次のメジャーリリース (6.1) で、Ubuntu 18.04 および Raspberry Pi OS 10 (buster) へのサポートが終了します。
- 新 OS のサポート
 - MacOS 14.0
 - Raspberry Pi OS 11 (32-bit)
 - Raspberry Pi 3 および Raspberry Pi4 (32 ビット) 上の Raspberry Pi OS 12。ネイティブの Raspberry Pi カメラはサポートされていません。
 - Ubuntu 24.04
- 改善点
 - 新しいカレンダーにより、大規模・長期間のアーカイブ全体を効率的に移動できるようになります。
 - WebRTC が大幅に改善されました。詳細は別途 API リリースノートで提供されます。
 - 夏時間のサポートが大幅に改善されました。
 - JWT トークンがサポートされました。これにより、Cloud DB のパフォーマンスおよびログアウトに関する問題が解消されます。
 - メインメニューで、Web ページとインテグレーションが分離されました。
 - デスクトップクライアントのログの設定および抽出機能が大幅に改善されました。
 - デスクトップクライアントの外観と操作性が最新の設計要件に合わせて再設計され、将来の設計変更に対応できるようになりました。
 - サーバーごとのカメラの最大数が 256 台に増加しました。システムのパフォーマンスと安定性については、サーバーのハードウェアに依存することにご注意ください。
 - ユーザーマニュアルが更新されました。
 - Linux 版クライアントのユーザーマニュアルは、システムのデフォルトブラウザではなく、内部ブラウザウィンドウで開きます。
 - デスクトップクライアントの初期画面で、自動検出されたシステムを非表示にするように設定できるようになりました。

- セキュリティ：
 - 自己署名証明書の一括承認が有効になりました。
 - パワーユーザー（旧：管理者）は、Web 管理画面で特定のシステム詳細設定を変更できなくなりました。すべての設定は管理者（旧：オーナー）のみが利用できるようになりました。
 - クライアント-サーバー間の API 通信は、より安全なプロトコルに変更されました。
 - 信頼できる中間者（MITM）の証明書受け入れが、デスクトップクライアントでサポートされました。
 - 新しいユーザーセッションが操作履歴に残るようになりました。
- デスクトップクライアント内の背景画像のサイズ制限が撤廃されました。
- クライアント内ブラウザ（Webkit）が更新されました。
- デスクトップクライアントでの最後のスクリーンショットのエクスポート設定が、次回のデフォルト値として保持されるようになりました。
- カメラ設定タブは、GPU 負荷を軽減するように最適化されました。
- ストレージ管理ダイアログは、容量データを自動更新するようになりました。
- 「メールアドレスが設定されていません」という通知が、デスクトップクライアントから削除されました。
- リソースツリーで現在のユーザーやシステムをダブルクリックすると、対応するダイアログが開くようになりました。
- デスクトップクライアントで、Web ページのタイトルを非表示にできるようになりました。
- SMTP メールサーバーの設定ダイアログが改善されました。
- セッションの有効期限が切れた後、クラウド接続を求める新しいプロンプトが表示されるようになりました。
- エクスポート前にアーカイブを復号する際のダイアログを修正しました。
- 仮想カメラをサーバーのコンテキストメニューから追加できるようになりました。
- デスクトップクライアント内の PTZ コントロールガイドが更新され、新しい機能、使用例、および運用管理が説明されるようになりました。
- 映像を前後に 10 秒間スキップするホットキーを追加しました(←→)。
- 魚眼カメラと PTZ カメラについて、タイトルおよびヘッダーを掴んでドラッグできるようになりました。
- Web ページにサインインするためのデスクトップクライアントのダイアログが改善されました。

- 複数のレイアウトまたは共有レイアウトを削除する際のダイアログボックスに、より多くの情報が提供されるようになりました。
- 分析チャック（黄色）のタイムライン上への表示がより速くなりました。
- アーカイブの読み取り/書き込み操作が最適化されました。
- ネットワークの輻輳やタイムアウト時のクラウド共有レイアウトの耐障害性が向上しました。
- ワンクリックアップデートの進行状況を示すログファイル (update.log) は、デスクトップクライアントまたは API を使用してダウンロードできます。
- ライセンスが有効化されているサーバーがオフラインになると、デスクトップクライアント上で対応するメッセージがすぐに表示されます。
- 一時停止オーバーレイが再設計され、一時停止中でもユーザーが映像を見ることができるようになりました。
- 「イベントの生成」権限がカスタムユーザーグループに新しく追加されました。より柔軟な権限グループの運用ができるようになります。
- 一時ユーザーのアクセスリンクを中継するために、汎用クラウド URL が提供されます。
- デスクトップクライアントのメニューが更新され、「新規（アイテム）」から「追加（アイテム）」に変更されました。
- デスクトップクライアントでのエクスポート時のファイル名は、OS 関連の問題を回避するため 256 文字に制限されました。
- LDAP のインポート速度が向上しました。
- 「ログ管理」画面に、さまざまなログレベルのツールチップを追加しました。
- スクリーンショット保存時のデフォルト形式が JPEG になりました。ファイルサイズが数倍小さくなります。
- VCA Technology カメラの再起動後に ROI 設定が適用されない問題を修正しました。
- PC に複数のビデオアダプターが存在する場合の、ハードウェアアクセラレーションデバイスの選択アルゴリズムが改善されました。

- 分析機能の改善/修正点
 - Vivotek
 - 新しいイベントタイプのサポート: Smart tracking Parking detection, Restricted zone detection
 - Vivotek Deep Learning VCA は、メーカーによってルールの種類を問わず5つまでに制限されています。
 - Smart Tracking Advanced では、関心領域の設定にズーム変数が組み込まれるようになりました。
 - Smart Tracking Advanced 機能は、デスクトップクライアントの除外マスク機能によってより強化されます。
 - Hikvision
 - Hikvision カメラが無効なオブジェクトタイプを報告する問題を修正しました。
 - 新しいバージョンの LPR が、カメラ上で正しく動作しない問題を修正しました。
 - Axis カメラで、複数の分析イベントへのサブスクリプションにより動作が非常に遅くなる問題を修正しました。
 - Univiewtec カメラで Uniview 分析が有効になりました。
 - IPCAM カメラが Milesight 分析プラグインで動作するようになりました。
 - Alibi カメラが Uniview 分析プラグインで動作するようになりました。
 - Hikvision カメラで顔認識が機能しない問題を修正しました。
 - 属性に許可/拒否リストが含まれている場合、分析オブジェクト検出時のルールが適切にトリガーされない問題を修正しました。
- 新規デバイス対応/改善/修正
 - デバイス個別修正
 - Axis
 - Axis C1310E デバイスがオンライン / オフラインを繰り返す問題を修正しました。
 - Axis カメラで H.265 ストリームの録画が途切れる問題を修正しました。
 - Axis T8311 ジョイスティックを使用すると、MacOS クライアントでカメラの PTZ 位置がずれる問題を修正しました。
 - Axis T8311 ジョイスティックによる操作が、選択した PTZ カメラのみではなく、レイアウト上のすべての PTZ 対応カメラに影響する問題を修正しました。

- Dahua NVR (X82B3A) で、すべての NVR チャンネルが適切に検出されない問題を修正しました。
- 特定の Hikvision カメラの認証に必要な時間を短縮しました。
- Raspberry Pi 3 および 4 の内蔵カメラからのストリームのデコードが最適化されました。
- カメラ時刻がシステム時刻と同期していない場合、または「カメラの時刻設定を保持する」オプションが選択されていない場合に、Hikvision DS-2CD3T56G2-4IS で録画欠損が発生する問題を修正しました。
- Vivotek VS8801 エンコーダーをシステムに手動で追加すると、各チャンネルが個別のデバイスとして登録される問題を修正しました。
- Allnet カメラをサポートしました。
- 正しい資格情報を入力しても、I/O モジュールに対して認証エラーが発生する問題を修正しました。
- Bosch カメラにサーバー時刻を強制すると、夏時間が適用されない問題を修正しました。
- Hikvision DS-2ZMN2507C-HT, DS-2CD6D55G2-IZHS の PTZ の問題を修正しました。
- アイホン IX-DV (カメラ付ドアホン端末) で、デュアルストリーミングが無効になっていた問題を修正しました。
- Hikvision DS-2DE4225IW-DE が、Hikvision 固有の機能が利用できない通常の ONVIF カメラとして検出される問題を修正しました。
- Truvision TVLP-S01-0402-BULx が Hikvision カメラとして検出され、Hikvision 固有の機能が有効になるよう調整しました。
- FLIR AI シリーズカメラのストリーミングの問題を修正しました。
- Optex Lidar カメラに関する問題を修正しました。
- Axis 2N SIP ホーンスピーカーが正しく初期化されない問題を修正しました。
- Aira タブレットからのストリームがデスクトップクライアントに表示されない問題を修正しました。
- サーバーが Honeywell カメラの H.265 プロファイルを使用しない問題を修正しました。
- カメラ追加またはサーバーの再起動後に、サーバーが Hikvision カメラの時刻設定をリセットする問題を修正しました。

- 新規対応デバイス
 - Axis TU9002 ジョイスティックが Ubuntu で利用できるようになりました。
- アナログエンコーダー
 - Dahua NVR608H
 - Axis M71xx
 - Uniview UV-XVR301x
- マルチセンサーカメラ
 - Hikvision DS-2SF8C442MX, DS-2TD4137-25/WY, DS-2SE7C432MW-AEB, DS-2TD4136x
 - Avigilon 15C-H4A-3MH-180, CAM 2-2 6.0C-H5DH-D01-IR
 - Dahua BF1241
 - Hanwha PNM-9085
 - Milesight MS-C5321-FPE, NC5321-FPE
 - Axis P3735PLE, P47x
- アドバンスド PTZ
 - Bolin Technology EXU248F, EXU230NX, EXU420N
- 不具合修正
 - 全体的な修正点
 - データベースの復元中に、システムの一部ではなくなった（統合解除済み）サーバーに情報がプッシュされ、サーバーの構成が意図しないものになり得る問題を修正しました。
 - Ubuntu 22.04 上の v5.1 サーバーが、SIGTERM (\$ kill PID) メソッドで停止された後、再起動に失敗する問題を修正しました。
 - デスクトップクライアントや API に対して、サーバーが不正確な SMB ストレージ容量を報告する問題を修正しました。
 - 復元タスク中に、破損したバックアップファイルによってサーバー設定がリセットされる問題を修正しました。
 - インストーラープロセスで、一時ユーザーおよびグループのデータが完全に削除されない問題を修正しました。
 - Raspberry Pi システムの長時間使用により、不安定化や再起動が発生する問題を修正しました。
 - Web 管理画面の使用時にセッション有効期限ダイアログが応答しない問題を修正しました。

- “metadata”: {“cameraRefs”: []} を指定して汎用イベントがトリガーされた場合、「イベント」タブにカメラのスナップショットが表示されない問題を修正しました。
 - 不安定なネットワーク環境では、サーバーが HTTP 経由の接続を解放せず、Web 管理画面への接続が拒否される問題が修正されました。
 - まれに、アーカイブ期間の長さがメインストレージとバックアップストレージ間で異なり得る問題を修正しました。
 - カメラのアーカイブを復元してインデックスを再作成すると、低解像度ストリームが失われ得る問題を修正しました。
 - 「カメラのストリームおよびプロファイル設定を保持する」オプションを有効にすると、構成されたプロファイルがカメラの Web ページから削除された場合、サーバーは対応するストリームの取得を停止していました。現在では、サーバーはデフォルトのプロファイルを利用するようになりました。
 - 「システムによるカメラ設定の変更を許可する」オプションが無効になっている場合でも、サーバーが一部カメラの時刻を変更する問題を修正しました。
- 詳細オブジェクト検索の修正
 - 詳細オブジェクト検索ダイアログに表示されるフィルター設定が、デスクトップクライアントの通知パネルに表示されるオブジェクト検索パラメーターと一致しない問題を修正しました。
 - オブジェクト検索後、カメラを「レイアウトに表示」した後も、デスクトップクライアントの「詳細オブジェクト検索」ダイアログがフォアグラウンドに残る問題を修正しました。
 - デスクトップクライアントの修正
 - デスクトップクライアントの初期画面に、クラウド接続システムのアイコンが表示されない場合がある問題を修正しました。
 - バージョンの低いサーバーに接続するときに、「最新バージョンがすでにインストールされています」という不適当なメッセージが表示される問題を修正しました。
 - デスクトップクライアントの埋め込みブラウザが、ラテン文字以外の入力を受け付けない問題を修正しました。
 - デスクトップクライアントの「全般」タブに証明書名が表示されない問題を修正しました。
 - クライアントがインターネットに接続されていない場合、デスクトップクライアントの「synchronizedTime」値がシステム時刻と一致

しない問題を修正しました。

- デスクトップクライアントのアンインストールプロセスが改善され、一時フォルダーや一時ファイルが削除されるようになりました。
- ソフトトリガーから送信された電子メールアラートに、ユーザー名ではなく内部ユーザー ID が表示される問題を修正しました。
- Stub Analytics プラグインで、分析オブジェクト検索機能が列挙属性と部分文字列を正しく処理できない問題を修正しました。
- 新しく追加された FTP ストレージのパスワードに特殊記号が含まれている場合、サーバーにパスワードが正しく送信されない問題を修正しました。
- マルチキャスト UDP ストリームからの音声再生されない問題を修正しました。
- ハードウェアアクセラレーションが有効になっている映像アイテムに、対応アイコンが表示されない問題を修正しました。
- すべての通知をクリアした後、通知パネルに「新しい通知はありません」というラベルが表示されない問題を修正しました。
- 信頼された中間者 (MITM) 証明書を持つ 2 つのシステムを統合できない問題を修正しました。
- 「追加のビデオウォールライセンスが必要です」という警告が永続的に表示され、無視できない問題を修正しました。
- エクスポート映像にオーバーレイを追加する際、プレビュー上のテキストと実際の映像上のテキストが一致しない問題を修正しました。
- HTML 構文を含むユーザー名 (admin<h>something</h>) により、ログインプロセスがフリーズする問題を修正しました。
- ブックマークログの「登録ユーザー」フィールドに、ユーザー名ではなくユーザー ID が表示される問題を修正しました。
- ローカルファイルの映像アイテムからズーム領域を作成すると、デスクトップクライアントがハングする問題を修正しました。
- 映像を全画面モードで再生しているときに分析検索領域を定義できず、代わりに映像アイテムが移動される問題を修正しました。
- 「レイアウトをクラウドとして保存」オプションがローカルユーザーに対して表示される問題を修正しました。
- システムから切り離されたサーバーに、誤ったアイコンが表示される問題を修正しました。
- PTZ ツアーにおいて、指定した時間待機しない問題を修正しました。
- システム内のサーバーにアクティブなインターネット接続がない場

合、クライアントのみの更新が機能しない問題を修正しました。

- デフォルトの PTZ ポジションの名前を変更すると、カメラに新しい名前のプリセットが追加される問題を修正しました。
- ブックマークダイアログ内の「よく使われるタグ」の提案で、テキストが望ましくない配置になっていた問題を修正しました。
- 6 つの画面を 150% のスケーリングで構成した際、ビデオウォールが誤動作する問題を修正しました。
- デスクトップクライアントの組み込みブラウザで特定の Web ページが表示できない問題を修正しました。
- 通知タイプを表示するローカル設定ダイアログボックスで、開くたびに並べ替え順序がリセットされる問題を修正しました。
- クライアント内アップデートが Ubuntu 22.04 で動作しない問題を修正しました。
- カメラを手動で追加したときに、「カメラがオフライン」という旨の通知が一度表示される問題を修正しました。
- オブジェクト検出データベースにより、未来の日付の削除できない通知が作成される問題を修正しました。
- 二要素認証が有効になっているシステムをクラウドからデスクトップクライアントで開くと、ログインできない問題を修正しました。
- デバイスリストにライセンスのない NVR が含まれている場合、「レイアウト上のカメラ」フィルターで分析オブジェクトが表示されない問題を修正しました。
- クライアントが予期せずクラウドからログアウトする問題を修正しました。
- サーバーのみのアップデート中に「アップデートを終了」ボタンが表示されなかった問題を修正しました。
- 初期画面で検索機能のホットキーが機能しない問題を修正しました。
- 新しくインストールされたシステムで、未適用の変更がない場合にも、システム管理ダイアログに「適用」ボタンが表示される問題を修正しました。
- 保存されていない変更（カメラやサーバー）があるシステムから切断すると、誤った確認ダイアログが表示される問題を修正しました。
- 「情報を追加」オプションを使用してエクスポートされたファイルに対して、ウォーターマークチェック機能で偽の失敗報告が為される問題を修正しました。
- Windows のデスクトップクライアントで、詳細オブジェクト検索モ

ードで映像を開始すると、シークバーの最後に映像再生スライダーが表示される問題を修正しました。

- ソースカメラを利用する設定がされたルールでは、プレ録画が機能しない問題を修正しました。
- NVIDIA Jetson でデスクトップクライアントが点滅する問題を修正しました。
- パスワードで保護された NOV ファイルを操作しようとする、デスクトップクライアントがクラッシュし得る問題を修正しました。
- LDAP から多数のユーザーをインポートするときに、デスクトップクライアントがハングし得る問題を修正しました。
- エキスパート設定の「カスタムメディアポート」が I/O デバイスで使用できない問題を修正しました。
- ログファイルの抽出中にエラーが発生した場合、対応するエラーメッセージが表示されない問題を修正しました。
- ブックマークリストで、ブックマーク作成時のタイムゾーンではなく現在のタイムゾーンが使用される問題を修正しました。
- Web ページの作成後に、「クライアント API の使用を許可する」のチェックボックスが保存されない場合がある問題を修正しました。

○ UI 修正

- システム統合後、Linux サーバーの Web 管理画面でクラウド接続メトリクスが正しく表示されない問題を修正しました。
- フェイルオーバー発生後、別のサーバーに移動したデバイスからのストリームが、(録画は正常にできているにもかかわらず) デスクトップクライアントに表示されない問題を修正しました。
- ズーム画面の作成時に、デスクトップクライアントがレイアウトアイテムの音声再生を停止する問題を修正しました。
- クラウドレイアウト (共有レイアウト) が保存後に正しく表示されない問題を修正しました。
- 管理者が一部クラウドアカウントの所属グループ/権限を変更できない問題を修正しました。
- ホットスポット利用時、デバイスからのストリームが上下逆になる問題を修正しました。

- API/SDK 新機能
 - デバイスの PTZ 制限を取得するための新しい関数
`/rest/v{3-}/devices/{deviceId}/ptz/limits` を追加しました。
- API/SDK 改善点
 - サーバー HTTP API
 - 関数 `/rest/v{2-}/devices/*/searches` のレスポンスで、`target` フィールドが url 形式を取る場合があります。
 - 関数 `/rest/v3/devices/{id}/media`、`/rest/v3/devices/{id}/media.{format}`、および `/rest/v3/devices/{id}/webrtc` に、新しいクエリパラメーター `aspectRatio` が追加されました。
 - カメラの映像アーカイブが複数のメディアサーバーに保存されている場合、関数 `/ec2/analyticsLookupObjectTracks` のパラメーター制限が正しく機能しない可能性があります。
- API/SDK 不具合修正
 - トランスコーディングを回避するために、`MediaSettings` でアスペクト比設定をスキップするオプションを追加しました。
 - HLS ストリーミング API によって返される `Access-Control-Allow-Origin` ヘッダーに、設定が反映されるようになりました。
 - SMB ネットワークストレージを追加したときに発生する「無効なストレージパス」の問題を修正しました。
 - REST API 関数 `/rest/v{1-}/webPages` の、`parentId` パラメーターが復元されました。
 - レイアウト内のアイテムの最大数を制御するための `maxSceneVideoItems` 設定を修正しました。
 - スタブ分析プラグイン、エンジン「Object Streamer」：設定適用時ときどき発生するクラッシュを修正しました。
- API/SDK の既知の問題
 - メタデータ SDK パッケージに含まれるサンプルプラグインのビルドについて、ARM デバイスで GCC 7.5 を使用すると失敗する可能性があります。新しい GCC バージョンでは正常に動作します。
- 既知の問題
 - デスクトップクライアントは、互換モードで 4.2 以前のシステムに接続することができません。